

大島石のプレミアムブランド

大島 耀

かがやき

KAGAYAKI

瀬戸内海の島々、海峡をつなぐ大橋、穏やかな海原の風景に浮かぶ大島。

かがやき

「耀」は、その北東部の余所国（よそくに）で採掘されています。

大島石の中でも採石量が多く人気のある銘柄です。

深い青味の石肌に散りばめられた石英が光に反射し、

どこか夜空の星屑の耀きを連想させます。

愛媛県大島

大島石とは

大島石は瀬戸内海の「しまなみ海道」が通る愛媛県大島で採掘されている高級墓石材です。

700年の歴史を持ち、特に産地に近い関西、中四国地方では、お墓といえば大島石と言われるほどの信頼と支持を得ています。「石の貴婦人」とも称される青みを含んだ美しい石肌で、建墓した時の気品、風格は他を圧倒します。また経年による劣化が少なく、むしろ時間が経つにつれて青みが深まり、一層存在感が増すことも大島石の特徴です。

大島石の特長をバランス良く持ち合わせた「^{かがやき}耀」の魅力

^{かがやき}大島耀の特長

約40余りある大島の丁場の中でも活発に採掘が行われている人気のある大島石。その特長を最もバランス良く持ち合わせた石材です。



大島耀の丁場（採石場）

大島石が人気の理由

大島石は、瀬戸内海に浮かぶ周囲約50kmの島、大島（愛媛県）で採石されています。江戸時代から美しく堅牢な石として知られていましたが、採石技術の未熟さ、搬出の難しさなどから、流通量はごくわずかでした。しかし、明治から大正、昭和にかけて、採石技術の進歩・機械化などで採石量が増えるにつれて一躍脚光を浴びるようになり、今日では全国から求められる銘石となっています。

「気品ある美しさ」

大島石は石目、石肌とも美しいことで定評があります。青磁の肌を感じさせる気品はまさに石の貴婦人の名にふさわしいものがあります。なによりも建墓したときの他を圧倒する気品、風格は大島石ならではのものです。

「堅牢」

国産の花崗岩の中でも大島石は硬くて粘りがあるといわれています。吸水率が低くどんな過酷な条件の中でも劣化しづらく、長く建墓時の状態を保ちます。

「100年品質」

大島石の石肌は時が経つにつれて青味が増し、一層深みのある色彩に変化します。「大島石は古くなるほど風格を増す」と言われる所以です。

大島石の物性データ

見掛比重 2.649 t/m³

吸水率 0.111%

圧縮強度 117.99 N/mm²

●販売店

